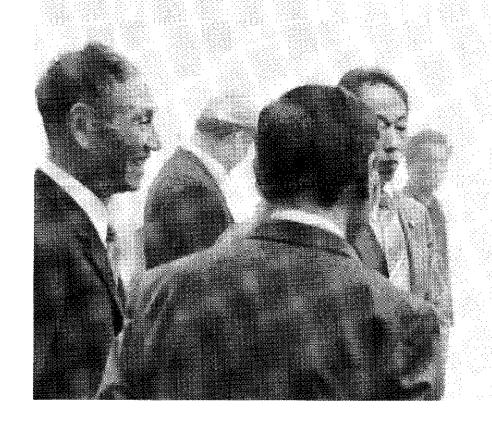
### 早稲田大学総長来町 %







長とるの事進のったのな。代係セエじしはう代行 のっ施後はめ建てい中自 表者ン事めたあ目町状 成コ・は 。況司

昭和55年11月25日発行

第 252 号

新潟県松代町公民館

電話松代 7-2301番

謹んでど冥福をお祈りいたしま葬の合同で盛大に執行されました。 葬儀は10月16日、議会葬、自宅議長としてど活躍の毎日でした。られ、昭和50年5月からは、議会

### 副議長に 中村俊正氏

議長に

### 富沢恭松氏を 選任

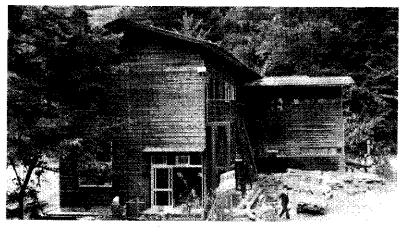
また、議会選出の監査委員に氏を選任しました。 中村俊正氏を、副議長に富沢恭中村俊正氏を、副議長に富沢恭 富沢恭松、 町議会が

義郎議員が選任同意されました、議会選出の監査委員には



(新しく議長に選ばれた

### 莇平小学校 增築落成



児童の喜びの声

です

いるし、ぼくたれもりっぱです。こて大きいです。こ ったです。 (一年 高橋 博之) いです。ひじょうができるのいです。ひじょうかいだんいです。ひじょうかいだんいです。ひじょうかいだんいです。ひじょうかいだんいです。ひじょうかいだんいです。ひじょうかいだん

らいたいです。 (五年 高橋 英学) らいたいです。 (五年 高橋 英学) らいたいです。 (五年 高橋 英学) がら、放送がもっと、楽しくできがら、放送がもっと、楽しくできると思います。 そして、新しい機械が入る (五年 高橋 英学)



### れる 玉 民

### 母

がて の身障者と でません 年でま 1 るときに の子やこ す。 くして、 **子のため**の **日子年** りても、年4 母 緒 子 に 歳 未 未 成 よ る の ま ◎ 年暮 の 金の

遺族年金 とき 金をう 夫等 は一人にっ は六万円、三人 た百円で、子が 大百円で、子が 円 7の死亡で他にが加算され、 けら が加算にで他 つき二万 が五二二十 2 が制 ま まれま い度 す まないいから - 一 人 人 万 人 人 万 子 ら 目 以 千

まで ۲ の歳 齢 が な 寡 から六いの生活 で年 を を を を か 易婦年金 がの年年を の生活を保障するので、妻は六十年金に加入しない。 妻は六十年 金金だたと 金が のけ な どの でる ₹, 金を受ける 四保障 重 年 母子年 っで 7 oの夫と十年以上の夫と十年以上 あ で す 11 0 で 年へ に、それ に、それ 金 辞が あ が りい

主体となっています。きに出る年金で、あくまででるものですから、女性がでるものですから、女性がくない。母親が国民年金に加え 年 せ 国 国 生 金 ん 民 民 活 老 五 ま での 婦

### な た は 労 保 険

7

わ金

りに

# 加

保強 触 ととに い 産業 K 主 す のなに 労働保 っ加 \_ て 入 一の有以 はいし 険 ま () () 雇 な 任すけ 無足尾 無 ° n 用 加たば保 入にならない。入にならない。これでした。 っ林い災ず

危

ろし険 しま 0) び手 加入 Þ 受けること 加 保険事 の手続 Ť きを 督は、てんして ると使 つ 組 あ 合 りま合 でくく た時な た時な 続きから、職業安 利 事で だの を採 < تع な工業す さで不 ° れの .<del>1</del>-6

> が保険金にして業 7 辞働 協会な し労 の工業務災害、対働保険に加 ر ح 、ことができまt並を支払いますの 又は失業した-À 通 すので安ときに ますと、 災害に 心政遇 不 っ幸 し府

お たとは い。世職 業安定 亦 15

### は役場 申出

て

下さ

捨 送管無捨 で 惑 理 断 場室 な が を 上 で に 對 と町 所 7 有おろ 危 者に から物 K

る れる し ح ŧ < いと のた捨 が て き廃 る **6** 🗓 が を おる く会に思 申に 出個 てかわ て人 らえれ 正で

ま切り ° VZ / ご 協力をお願

て

ま

す

戸

籍

 $\bigcirc$ 

窓

か

ら

月 没付分 ( 受 付 順

## おめでとう

7 嶌 

小 鈴 市 関市 谷川 相澤津八子石田恵美子 苩 犬松田刈 原

おたんじょう 場 木 英 二 川 佳 雄 . 西方一美 市川久子 伏代澤

おめでとう

出秀行 陸生 男 峠 石

母光子

大 父 登

+-

母浦子

助

<sub>(</sub>お 死く じゃ J.

佐 武 岩 山 関 関 市 柳 藤 田 瀬 岸 谷 谷 川 高山鈴 橋哲 賀木 ケ憲チ璋源哲惣チサ昭カ次市郎五イ 吉 亀  $\overline{\mathbf{v}}$ 郎 八七八五六五 四七七 三一二八五八八 オオオオオニオ 六二才 五. オオオオオ 才才 千太東松松松 莇小室年平山代代代滝平荒野 莇小室 澤 戸 高よ中鹿 糀 荒 大 九 島 ぜ 島屋川 向 西 苧 善 品ぜ 屋ん 室 畑

才

佐

県 松 教代 職 員住

う ごき 11月1日現在 (+3)(-2)

亡

出

計

(-7)

12

1 0

2 2

(-5)

1,876 3.572 3,607

7, 1 7 9 死

1 3

1 5

ロの

攵 計 生 λ

世帯数

人口男

(3)

# 61)

病

を防

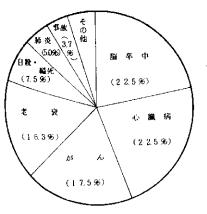
日常生活

そ

### え つ つ る 心

つがじ疾もあが後疾欧年性死大脳率 徐わ恵米々心亡疾卒は、 ながが諸増疾内病中、国 Ō っ徐わ患 による て々がが諸増疾内病中
こに国圧国加患容にや の欧に倒のの(はな ガ 疾米お的心傾狭 6 つ れ患 患化いに疾向心最 がして多患を症も  $\tau$ 人占脳 松 にあ食 がめ 卒代増る生 。成位に をよ て 18 とのるもど 今心 な人 同 いるもど 今心 、性す のめ死 。で面の三

### 年 度 死 亡 原 因



### 0 た

くがと働血し筋らあの割内れのに いげ心を 쿨 夜 < 肉 でた役血心 を全身 み かのる臓 生血 割 液臓 と働 大とはてじ液 を送る。 5 、、、いた、 した り 仕出身 ま とのくす。 老 酸 廃 素 して 素い か心環 6) す て、れ握のし、これを選べて、ないのでは、ないのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、これでは、いいのでは Z ま なのせい っ壁る る 図 はポののほと人たび素 てむて 送 す筋の

> よって運 素は、冠 での活動 肺静脈 て 冠 気活動 肺で酸素を ば 状に もらった肌れ動欠液 心と 币 臓をとりない栄養 巻き ą に酸

心臓のしくみ 大動脈 肺静脈 gき、さらに、 たるところ: た 全身から 右 て、広くまれるところであるところである。 動脈 もどって άľs 心 動 房 房 液 くる血液 Ġ 肺へ送ら 全身へ新鮮 右 左 心わな な血液を送 がれたた かれたた でもす れて酸素 J.Co 心 り出す。 をもってくる。 室 室

十っなて分いの走二大そ 分たんい布枝壁り本動の がら豊富ない出して、広く もし、 原因 で つ ح ま 0) 冠状動 んべん 経 を供 んべん 脈給なに心面左 がしく細臓を右

き な は く は を て が供 T いエるネ 心 ま

# 心

たるあ持り作発迫るがへ 一狭 ~欠送 続 まは作感 すす10 ーや発 乏 が分と疼作しれ的症 る 、以い痛的たるに 合 15 内 い を な た 酸 心

— *(*)

す

安プいて強静がまの弱 い静 時 多 す発に にい。作よ ・のです 発作の一発 のです れ症 て いて まの る が大作る 部性る ح と一分狭ち が方は心の と症が あ り夜の一あ へ間タ とり が 強安のイい

す。 た気しの汗強精、主や、 す。 。 。 り、 心ん断然 三分 たふ冠心 便 塞 ま たが動硬  $\emptyset$ う っ脈塞 難 お シ 他 蒼 な 発 ح う تع て 化 生 亡 る だとない。 いてと 作はに ∌ ` 白 胸 とに心な 痛 ッ血 率 日 筋 るはもク圧手に を高と りいのは である。 はきな、のはまが のまままたど発もする のまままたが発 と病死め気を の ₽ す死が突

ð



# 会

# 力 会

保護司  $\dot{\underline{\nabla}}$ 青 年 問 題

思目 人在を たなで臣松存保 雑 ることで、そず、護あ 司 Ł かる 47

と域す社 つ日いそ再細 あ者犯しないない。 さも い頭 をせつ てを 罪と 悩なか 直 を いた仕全なる さゞ事育 接犯 まいわそ 成は特を さよねの接し ン世の成 ねうば為触て か問 \_\_ ばになにす し違 一つ保に任め罪人犯 なすら対る と護青務地の達さ犯はと ま う般

のSのなな時みつ君生が 組君話っ話Sなきにであ あ先な為 のがてだ君 ル挙なたの切 さ員 がずあ 新 湯場沢合 币 しがのら休い湯 た で ŧ 色み 際沢 暴  $\Box$ 市 っ力 < 々時久 久で、でも策を神で し保旧更多に犯経あ ŧ る た団 一な間 ح よの保話のぶ護 制生 っ暴 チれがうろた 力ピ親護をみり司中保 Ù のを学護 がば先しか少事と分司 Ü そて組決 てら年件笑とにたか再し当新 またれわを ŧ Ł がをい仲な がさ会 て時温 と。でく離判組こ暴起な良っ、をにいも大は言れ断とれ力しがしてそお話る 、をにいの県 同 大 のを団てらに変のしがS級会 きとい更

> つあ緒町うあもレさおらっいにつ組た言私のかはは志かっ てるにでにる若しれっまた出そいとかわににらめ組いが食会な、いへもかれてしのてのられ面、話っの た市成のに熱以も場 1 いへもかれてしのてのられ面 うも 話っの ٢ う よ用 る適事 うれ良者行すなて 功がの大決 とた辺は縁本たと先をたお 当でもともないと、 さな、 さな、 はいい、 でもももは、 ないと、 はい、 ないと、 はいし、 とと、 はいし、 とと、 はいし、 とと、 はいし、 とと、 はいし、 とと、 はいし、 といった。 とい。 といった。 暴話丈 で先 。向生切に ま を人 え ŧ 対なも る 畫 つめのを や気胸い護よ出る組 で ま付りなにに司 てに少 が世と手 う向  $\subset$ 年 まら敬 くのな い他 。がき、めまだ そなゝそキさあ ん無服いこ人 に楽しことが 7 わ ょの る  $\mathcal{O}$ つ 7 0) こ 皮 と に の 度を そっと できる という という とう とっと かって がら とっと で 間 バ 殺 が か 弱 目 し 。てそ تح が真 保 う件 まと な正護 る の意はく でしをはい面司に意志思

まが護土 方 のに 口地対仕は なら護のす ので象事比 更る 斡はをも較 察生て君 '行政相談って

あ司

隣 持 郡 的

持せい保な

ご存じ?

役所への苦情や要望・意見などがある場合、 相談に応じてくれることでしょう。。

S

行政相談とは、役所や公社

じ都のへとの

の功意成

てに長

説明になっとくできない ●このようにしてほしい

●処理がおそい

処理がまちがっている や実現を図るものです。 どうすればよいか分からない。 特に行政管理庁の行政相談 ● 不親切な扱いを受けた

・公団等の仕事について :などの苦情・要望・問い合 せをお受けして。その解決 業務は、皆さんと役所との 間にたって中立・公平な立

場から必要なあっせんを行い、 : 苦情の解決に努めています。

つ ね < もばもおこ づ 15 < Ď じ ついの らた 護にれ隘 言 2 (1 る路う の仕 あ事 て少要 るに更年で こは生をあり 3

わすの時加の れて埋 の僻ま ると解 ど傾地 た のと ۲Ŀ 出 社 しがも て見年の感かな な浄 ₽ 5 Þ 変 一れ保遷 い化 要へ般る 件のの現司 لے で協住状のも あ力民を仕な るが皆考事い と欠さえも 思かんる増こ

一なをい生社したも 吏 会た対 < T の を 全 が 道 を 厳 と 者 ۲ ₽ で 2 不の 世 と者幸さ 13 \$ せ犯罪とどざゝ る < あ る し 現在、司とのことが う 3 つしゃ > 17 気 いてか がをれれ打 持 て罪な 益 就わ社 てちは見を経 一 る 々任れ会つ しひ持る犯験 る浄だ一まし ちにしか 。化け入うがな てら 協はは任年 へでの例れが皆し考 どり務に のも人がてら 更まえ 力 も生って 第少間多更

βJj

更な

つ、そ罪、と犯のを罪

会の生いし

会奉 7

を

会御にやの十 現をう地のな

佐藤秀雄さん(電話7~2602)です。 松代町の行政相談員は

### 沢集落開発セ 夕 完成

建築費九五〇万円

畳の大会議室、8畳の小会議室があります。一階には雪上車格納庫や調理実習室、二階には17・

5

(正面)

### ≔産業シリーズ(4)≔

### 農村地域定住 促進対策事業

本年度よりスタート

### 農村地域定住促進対策事業計画予定表

<b>-</b>		·		v				
	事業種目	事業細目	地区名	事業内容	年月 56 年度	<u> </u>	施 予	定 59年度
	小規模土地改良 事 業	農 道	小荒戸	L=270m <sup>W=40m</sup> (3.0m)		0		
			福島	L=440m W=36m (26m)				0
	特用作物経営近 代化施設整備事業	たばと貯蔵所	東山	木造二階建 1棟278.24m	0			
	緑地 等利用健康 増進施設整備事業	広 場 施 設	太平	1 力所約 1,000㎡	0			
	生活環境保全施設整備事業	共同駐車場	田野倉	1 力所約 650 ㎡	0			
			犬 伏	1 力所約 600 ㎡				0
	農 林 漁 業 連 絡 道 路 整 備 事 業	集落内連絡道路	出 沢	改良舗装 L=618m W=4.0m		0		
			蒲 生	$L=570 \text{m}^{W=4.0 \text{m}}$ (3.5 m)			0	
	多目的集会施設整備事業	建物内部施設	田野倉	木造二階建 1棟 約159㎡	0			
			奈良立	" " 約116㎡	Ö			
			孟地	" 約139m"			0	
			名 平	" " 約 116㎡				0
	Į į		池 尻	" " 約159 <i>㎡</i>		0		
			福島	" " 約159m"			0	
	総事業費	2 4 5,0 0 0 ff						
L						i	i	

### 階床面積六〇 四 五 m<sup>2</sup> 階床面積五七・ 九六㎡

増進を図るための解と親睦を深め、 は **集会**• 研修・ 直されたものです。化の向上、保健福祉の修・娯楽を通じ相互理

### 国勢調査人口決まる

### 昭和50年調査より1,159人減の7,114人でした。—

調査に皆さんのご協力をいたゞき厚くお礼申し上げます。 残念ながら過疎化が続き、昭和50年調査から大巾な減となってし まいました。

松代町人口(55年10月1日)

数

3,549人(50年調査時 4,146人)

7.114人

3,565人(50年調査時 4.127人)

と神奉の は各いに赤そ関月よま途がので社納軍ちな寺と形のの東、れす中あ丸軍

また祈関、領家幡

み納長謙で関内鎌録出た

上で久信あ東上倉四県も謙 越いれののり管杉八年文の信

祝配にり

もれはみかに武りの徴領信

奉 運

のを管

、ど日象管謙ばが奉りが配

丸の山は永前し上

ゝ 乙 領旗 、い 社 六 査 ら 原 雅 金 ーめ就を黒で前一年れ攻な彩<sup>ン</sup>つて任軍地おで<sup>ン</sup>報てめ趣の二

二化と

のは継の五調え田典な

一財伝小で

、四にいのき日種種

3

質に

五

が素大種刀種兼種

身 五

す

たくさんの応募を(126通)いた だきありがとうございました。

**こちらの方も残念ながらピタリ賞がなく、前後に近い次の方々を当** 選といたしました。

1位	7,099人	太平	相	尺敏	子	様
2 "	7,142人	室 野	米 :	寺 文	行	"
3 "	7,150人	犬 伏	柳	惣一	一郎	"
"	"	松 代	佐店	藻 達	栄	"
"	″	莇 平	高村	喬 五.	並	"
"	"	桐山	小(	11 }	3	"
4位	7,151人	松 代	鈴	木 林	¥Ž.	"
5 ″	7,159人	蒲 生	小填	界 久美	(子	"
6 "	7,161人	松 代	石口	コ キ	3	"
7 "	7.163人	小荒戸	實 %	₽ 和	7½.	"

のさ配ない社

かと分方

なと愛に

いで宕残

の松社同

乙夢に様

神る

### た日に経が同らに小約 の制年基貸し従 、小れ改作を乙除 小小度準人たっ そ作た正料行のに9統のに和 作作よにののて 急の料昭さ、な統な月制最か45 年配激移に和れ標う制 な行移45ま準場小ま 日作額 額支本新双今の のか変に行年す小合作 を料が小前 で払年小方後統 化よさの 一作に料た ₽ 支い度作では制 をりれ時が料そは つい制 が本与小る点はとの `賃が ていさは定 い受いを標借解し、領ま決準人除 な年え作予でじい基現 そまれ さのな農 定廃めい礎在 のすて国れ 下ま定小のに れ9いので止て3と小 おにた 領さでし作方な ま月よ農しさ設年な作し30う業たれけ毎る契 制がりよ小 \*料とり まっ作 おのそらは い印のな農な料作新い

### 現行標準小作料(10a当)

そ統来を賃

料料りし方

`は料

しいの

ので

ての

•		
)	1 級 地 (	26,000
? ) }	2 級 地 (未整備 480 Kg (8 俵))	2 0, 0 0 0
; }	3 級 地 (未整備450 <sup>Kg</sup> (7 <del></del>	1 7,0 0 0
)	4 級 地 (未整備 420 <sup>Kg</sup> (7 俵))	1 4, 0 0 0
! !	5 級 地 (未整備390 <sup>Kg</sup> (6 <del>後半</del> ))	1 1,0 0 0

最

大

巾

ガ

で下さると員小年次料に えはつ通約におのに 貸て知を改り基な 人おしく にででである。 でな約さすとま まけしれへな 会人すれたまこる 「ま双のは場っ」 によってなる。標 である。

いの場合なに契月と定う、よう

(町文化財)

7 年な軍て以 月で

十でと証四っ 五はのし年て 八い配い後軍 とまの配 一すてが 町うに小ょ納

のか奉刀右さ

。納ののれ

さ奉調た

(7)

文

### 松苧神社考5

制

n

への移行をお

### 気 近 の た での場合 (梅雨時期) 日がオ梅 も記の昭 80 日で馬あ 、 (型) 会 (基) 会 (本) 会 (本) の (a) の (b) 時期にはこれを梅雨前線と一本の南岸方面に停滞前線 続ホ 雨 和照 - に 時 式 圧 舌 上 は 現 規 神 \*\* 平の南岸方式が1ツク海、小1ツク海、トララスの 断続 こに時式圧 下今 旬の 中の天気を大いめの夏となら、めの夏となられる異常低温! 低圧 6 解は 6 の気 帯と 今年 < る た る 千島長 れ、大陽 る $\mathcal{O}$ つ 0 7 Þ きた。 17 Ź 0) な 方 0 に明雨 型に始 Ď, がな 屲 々 出 に例 つ 見 8 治 K 11 21 21 11 11 ・月現現に始であ 下中わがなまあり ` 月 いう)線。 ぶをも と 太 にい左 常 舞 38 た 出をが 7 9月 8 月

表 3. 日照時間の比較

例年

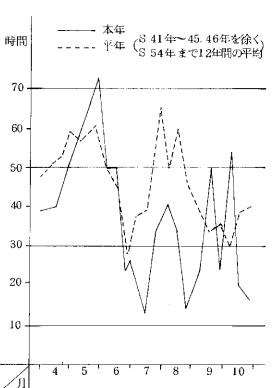
本年

11

6

21

月



### 表 2. 最高気温と最低気温の比較

なは特梅照 平に雨 年 型 7 6 月 又よ月 の月中 7 り中 継 下 25 続 旬か の時  $\overline{\phantom{a}}$ Ł か 共に ら 8 旬 から 照 の の の の の 月 照 月 下 間時中と 旬 ・な の間 ま 平も下っでは 车 必 旬たは多

> な間間が つ た 6) 8 ず 月 2 れは時 間 ₽ 1 5 K 約 50 4 対 %時し、 の間 日に今 照 対 年 時 し は 間 90 73 と時時

日

照

盱

は

表3参考

"

か Ġ 4 異 4時間に対-20月まで 発常冷夏だ 照間 をに Ū つ 録 0) 日た 照昭 今 年時和 は間51 7 の年 9 計の 1 が 4 時8月

で表 し測 てデ次 わみー źځ. 今年の Ŧ 別データで比 タ較観

### 気温は (表2参考

低す

21 で 今 H あ 真 夏 年がり は最 日 はさらに少な、 昭和28年の2 昭和30年の2 つ19の 16 て 日 平 という 最る51で °年39 低 の日

作わ年ゝ

高て石

86 に記 下旬 ま 9 旬 ま 髭 月 月 は年 か で 高 にに中し 一なら7 6 は 気 5 4 ĺŧ 温 は5月下の月に 平年を 灵 で 温 28 月 低年 も例年 でが É 並が続る 最  $\mathcal{C}$ か続 つ旬 高に らいかたか日 17 で 15 8 た B 月 下 6 な 3 1 2 ⇒ H 3 8 (8) て下 回 6 月 8 月い旬 り月中た

下る 旬がで平月 7 ま最は今島で低25年高 °C lt 気 ま 低が31 旬 一句た。 か b 10

1 回を つ

本年 --- 平年(S 25年〜S 54年の 最高気温 30 25 -20 15-

最低気温

長か

雨型と異常冷夏

県

立

### ŧ り例 た 14 ま 真 年 に い 年 日で夏なな降間なの降日らり水のり が日

 $\exists$ 

タタりが20 毎量デ 刻刻続続日 かまいく頃の記 た時に

期はうした うし中量がま では はて 昨少み今 型 7 ₽ き雨 かど気象中となり は昭豪り 夏 低 和 雨 がく 51 と く51 と月 年な末 一を記録日よっては の最も照比には中 。弱旬上稲た

録の水た々

2 末今冷 ま年 る的不のめ記 。常れ時較 暖た間し

10

〇窯 円の へ方 送は 料左一記 申 円し込み下 さ (1

込 み

へ理塚 町 安 育 塚 セ八 九 9 Ξ

三五五 九 O

界教 草れり庭ん んお セかが員め る 来 る ま ま 3 7 す 思いた。 でにと遠い でにと遠い でにと遠い でにと遠い でにと述い でにと述い るあ ま °いまで ったおにを文達て話花と り花はお化しをし道安んの思心

### 文化協会シ: ij

いか旬のが

(9)

### 東頸の自然を知るガイドブック 「東頸の自然」が増冊されました

100 70 50-

-- 平年

表 4. 降水量の比較

149mm

(平年はS 25~S54の平均)

のの州

智盛家会 っ花高員

3

新生ます。 大流一葉

7

(寒林)



まりの 、四年と と高校一 の家は 専 は家事の手伝いは殊です。男の子ば女生の三男と父が事をしてくれる父母をしてくれる人妻でないおじい ははな が事 のので手 す伝のと が、山あいはあい、れるお いはあか、山あお るいす 2 

> ってきを持ってこよう帰ります。私もいると子供達は 喜仕事い曜伝懸 ぶ事のや日い命 っ一ま仕ハ男を て人す事ゼが刈 命 で 人 他 通 借 とが後 子いで てこようなす。私も ずけ 7 っー 7 うえない のおやつ しと私達 も里 出 るは家達た。らはに一ていがい男、 帰何へがよ、仕と日手生言のりとが二

かお子と午のいる うと うかがた たつ達うかがある たっ やりの 気持い というと また 進まな た。 てっ命っ で使命 すいに 子が伝 び供うっ 事活中がら ŧ < のすに良のすれ、 達まて



の姿を である り り 出大学が 総合セ 直っ脱し教ン 回してみるこ た相互愛で がかっ な授を迎え、 いっ など

う |題と日本学部教授

0) 0)

農小

をた

### み ん な の広場

### 遠 足

菅刈分校四年

**谷** (坂中)



10月17日に親子すいはん遠足がありました。わたし達のメニュウは、きのこ汁、やき肉、野菜いたは、きのこれ、やき肉、野菜いためです。町田先生が木をもやす係がです。こはんのバーベキュー理係です。こはんのバーベキュー理係です。こはんのバーベキューでき、最後のやき肉です。わたしまさでした。さすがお母さんが、やきました。ほっぺたが落ちそうなうました。ほっぺたが落ちそうなうなあと思いました。きのこ汁ができました。ほっぺたが落ちそうなうまさでした。さすがお母さんが、やきなあと思いました。きのこ汁ができまさでした。さすがお母さんが、やきなあと思いました。野菜いためも困ったことに、たれがありません。仕方なくたれを作りました。ハショー、アジシオ、わさび、かっショー、アジシオ、わさび、かっショー、アジシオ、わさび、かっショー、アジシオ、わさび、かっショー、アジシオ、わさび、かっショー、アジシオ、わさび、かっショー、アジシオ、わさび、かっショー、アジシオ、わさび、かっショー、アジシオ、わさび、からりました。

### ぶ み 句

法話終え 10月17日 てれて 5霖けむる永平寺でまぶしき菊手入り 於室野消防 秋ざくられがさくられ 庁 れ 舎 史

コ 天高 越け Æ し に来四る ス天 ゃ 五牛 山り 0) 本の F ゆ子 し が妙 れ既 り高 てに 17 11 朝 の月 歩

7

長 見旅 渡 甘 ₽ 終りに 近も しな 秋きの刈 雨出 か な 水

多道 高 はの からみの oつきたる蔦紅b り背に落葉ふる 葉 水

台風 さわ のや 過か ぐに れあ ばり 紅って 葉 座 日敷 朻 0) 山とかり、 花 し風

刈り跡 に残 広げ捨ての稲あり 対りみぞれ殺める み ぞち

> 座 空 敷 稲 公より菊紀架を解 のけ )色づきを楽. ま めり りぬ

病み痩 痩せて て絡 排み KL 重点 しの 秋 紅 羽葉 織し て 公 明

目 廃 で 屋 笑 は い真 子 暗 の闇 秋や 门 秋 を凝う ħ U げ K 茶

集 稲 り 連 廃 屋 に の てび 母站 白夫 偲も き婦 ぶ加 コ の 夜わ ス散 モ歩 る ンスみだれ 虫茜 れ 残く T 代

鈴母 虫の の忌 音や の墓 細に り紅 ゆ葉 くの散 のり っかかり 代

杉茸をとる時稲埃払いて 児は黙. に関す かか ざな 1) 喜

語り 語り継<sup>・</sup> ぐ 渡 し日 場記 の閉 水ず **小澄みにけ** ・音夜のひ の砂灘 ń だ 舟

۲ ぼは れ澄 種み 生えも て澄 咲きけ 17 り し秋桜/秋深し 金

静水 けさを増す秋の暮面たたいてすすきゆ

音にの

訓

### ( 専修訓練課程 集の お 知 ら せ

学 56 校 卒 度 ており ・ 以 は 上 以 の 専 専修 等職 30 訓業 オ以下)、練課程訓練校で を募集しい。 は、

校希望 所へ R4~2 望者は最寄りの公共職望者は最寄りの公共職でとなっておりますの (職業安)ので、 業安 月 定入15

練科

お

Ŋ

ラです。 募集定員、

建木機 築工械 科科科 二一二 〇〇 名名名 力力力 年 年 年

○二五五-くわし、 さい。ニニー 1 練三 校 五へ 九 九 六 E おL 間

夜

間

# 電

なり

ます

電話 た。 朝 8 料 時まで、 金の夜間

すお加る 。掛さ地 けの通話は約6割引になりれ、夜9時から朝6時まで域への通話は、更に割引がた、長距離電話の20㎞を超は約4割引になります。 なりまでに追る超え 。域へ

りの ま通な せ話お NK は100 深番 (夜割引の対象)番通話と地集電気 にはないら

母と子の会話

### がままと 自己主張の 区別を



乱暴を 手な行 利己 ۲ 主張  $\emptyset$ よう t たら の思 クを起こ 40 15 い通 わがた 理を言 にりします。こして泣いたと思りにならな 分本位 つう、 ます。 たな り、と し り と 0) 身

と、同じ年ごろの友だちのもはなかなか理解できませんであれなか理解できませんであんなと一緒に仲といいはよく理のがはまく一緒に仲と、同じ年ごろの友だちのもれなと一緒に仲と、同じ年ごろの友だちのものものとう。 ロックル ロックが でも がままな性 さん。 気持 な思い通 て格 育は つ

な を く く なき利

んしる。たよ 分 の そ くし そさえ 心理に表 求た不 状し面 湍 るよ 態な的 にがにを 子 的おわ いなりざるをえている。これのとは親にしてみいる。気になりがなりになりがいる。これのののではなりがいる。これのではなりがいる。これのでは、これので してみがしてみがいる方のがあっている方のがあっている方のがあっている。 なり が方ち 多ま ンカウ ですい すこ すこ ですこ

して受け、 利己主張 な受け を 7 すを付くしととける通入間にめ正た 7 やなの 自己主 え こ لح Ť にでわまで 張が で 供する区 まま き る せはと 言 別な

りたいも ように、 ン トそ ものです。 して子供が大切でいまれていることが大切では、かけれて、納得になったが大切ではないです。 いてするとが大切では、かけるとが大切では、かけるとが大切では、かけるとが大切では、かけるというです。 つと した と応 すか い な じ 。 ら 面 にがじ 気で 7









本生徒・一般の方々 の労作・力作がいっ の労作・力作がいっ の労作・力作がいっ の労作・力作がいっ が開催され、3日には松代 中学校体育館を会場にせま 時の成果を発表しました。 野菜・養鯉等の即売や、も が開催され、現産 を はな代 が開催され、現産 が開催され、現産 が開催され、現産 が開催され、現産 が開催され、現産 が開催され、現産 が開催され、現産 が開催が行われ、現産 た。また農体が出演、日本が出演、日本が出演、日本の主義、日本の主義、日本の主義、日本の主義、日本の主義、日本の主義、日本の主義、日本の主義、日本の主義、日本の主義、日本の主義、日本の主義、日本の主義、日本 もあり ) *"*カカシ もちつき



千年子ども笠おどり 3 日芸能発表会(松代中学校で)









農 業 祭〃